

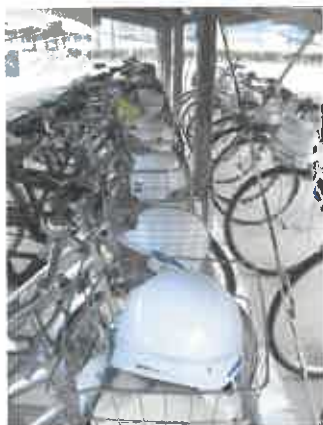


mIRaI 通信

～輝く「未来」の中に「伊里」はある～



ヘルメットの上手な置き方



① 良い例



② 良くない例

左の2つの写真をご覧ください。

一つはヘルメットが全て上を向いてカゴに入っている列。一つは全部のヘルメットがひっくり返って入れられています。

逆さになっていると、知らない間に何かが飛んできて入っているかもしれません。先日もそんな出来事がありました。去年もありました。

更に、屋根があるとはいえ、雨の吹き降りで、中が濡れて帰る時にかぶれない、ということあり得ます。学校では、①の写真ように入れるよう指導しています。

撮影した日は、その指導があった後かどうかは定かではありませんが、列(学年)によって見事に分かれていました。余分な心配をしなくて済むよう、これも自分の身を守る手段の一つです。

ヘルメットは必ずきちんと上を向けて置きましょう!!

GW

4月が終わればGWの始まり?



早いもので、はや4月も終わりですね。最初の一月はどうだったでしょうか。

中学校としては、全学年とても良いスタートが切れたのでは、と考えています。張り切り具合が良く伝わってきた毎日でした。

しかし、新学期の始めというのは、つい「張り切り過ぎ」てしまうきらいがあります。「張り切り過ぎ」がずっと続けられればよいのですが、人間なかなかそこまでは集中力は続きません。だったら、徐々にスローダウンして行って、スムーズに自分の良いペースを確立する…これが大切なのですが、実は、これの大きな障害(邪魔)となるのが、みんな大好き「ゴールデンウィーク」なのです。

積み上げてきて、定着しかかった良い習慣が、休みが続くことで一気に、まさに音をたてて崩れていく…気づけば良い習慣などどこへやら、元の木阿弥、頑張ったボク(ワタシ)はどこへ…?ということになってしまいます。

明日29日から連休に入っていきます。部活動やクラブチーム、あるいは宿題等で、休みとはいえ忙しい毎日かもしれませんが、それでもやはり解放感を感じるのがこの連休です。

どうか、この1ヶ月頑張ってきたことを無駄にしない休みとしてください。次の段階に進むための、「ちょっと一息」という感じの休みにしたいものです。



安心メール途中報告 (笑)



mIRal 安心メール、絶賛登録受付中でありませす。スゴイ勢いで伸びております。まだの方、流行に乗り遅れませすようにお早めにご登録を (笑)。

27 日夜 9 時の時点で、保護者の方の登録数は 59 名です。ただしご両親揃ってのご登録もあります。その中で 4 名の方は「仮登録」状態で、「本登録」とはなっておりませす。

昨年度は、安心メールの導入が 7 月でしたので間に合いませんでしたが、今年度は各学年の校外学習で、現地から安否情報ですとか、生徒たちの様子をメールにてお知らせします。

特に 3 年生の修学旅行に関しましては、熊本地震の影響で、延期するか予定どおり行くかで大いに悩み、現地情報や今後の予想、生徒や保護者の皆様の思いなど、多面的に判断し、現時点では実施することになっています。しかし、保護者の皆様のお気持ちとしては、不安もいっぱいのこととお察しします。その不安解消のためにも、細かな報告をしたいと考えておりますので、ぜひご登録しておいてください。



ふれあい

ふれあい学級と共学する 1 年生



27 日、2 校時の 1 年生の授業に、ふれあい学級の方々も参加され「共学」しました。A 組の国語の授業では、私が覗いた時には、漢字のプリントを行っており。ふれあいのお二人は、さすがの「昔取ったきねづか」、ほとんど赤の丸印がついていました。このふれあい学級との共学も、伊里中学校の大きな特色であり魅力です。このような場から、それぞれ「ふれあい」が広がっていつて欲しいものです。



二十四節気 穀 雨



末候「牡丹華さく (ぼたんはなさく)」 4 月 30 日～5 月 4 日頃

牡丹の花が咲き出す頃。中国では、牡丹は「花の王様」と言われるほど愛でられてきました。



サイボーグ 009 とゴルゴ 13



009 号のタイトルの下に「サイボーグ 009 号」と書いていたのを気づかれましたか？ いわずと知れた石ノ森章太郎先生の名作マンガであり、小学生時代の私は胸をときめかせて読んでいたものです。時々そうやって紙面上で、「お遊び」をやっていますので、隅から隅まで、ズズズイと目を凝らして見てくださいな。

そして、そんな「013 号」発行時、特に何も書かずにいたら、校長先生から「013 号は、ゴルゴ 13 (サーティーン) 号にせんといけまあ」とのご指摘が (苦笑)。う～ん、なぜか「ゴルゴ 13」は自分の選択肢になかったなあ…。とても有名なマンガではありますが、やはり読んでいないものは咄嗟には出てこないものですね。